



大野で生きる 大野に生きる

～第2期大野づくり計画～

令和3年3月
大野地区公民館



開拓魂

創立八十周年記念
平成七年八月十二日建立

大野で生きる 大野に生きる ～第2期大野づくり計画～

もくじ

1	第2期大野づくり計画について	P 1
2	大野づくり推進体制	P 2
3	第2期大野づくり計画の概要	P 3
4	大野のありたい姿（行動計画）	P 4
5	わたしの大野づくり	P20
6	参考資料	
	(1) 大野づくりの歩み	P22
	(2) 第2期大野づくり計画策定・推進委員会規程	P26
	(3) 第2期大野づくり計画策定・推進委員会名簿	P27
	(4) 策定経過	P28
	あとがき	P29

1 第2期大野づくり計画について

わたしたちは、これまで平成 23 年3月に策定した「大野づくり計画」（計画期間:H23～R2年度）に基づいて地域づくりに取り組んできました。計画の最終年度である令和2年度、10年間の大野づくりを振り返り、次の10年について考え、意見を出し合って「第2期大野づくり計画」を策定しました。

この計画の期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間ですが、期間中に進捗状況の確認や見直しを行います。

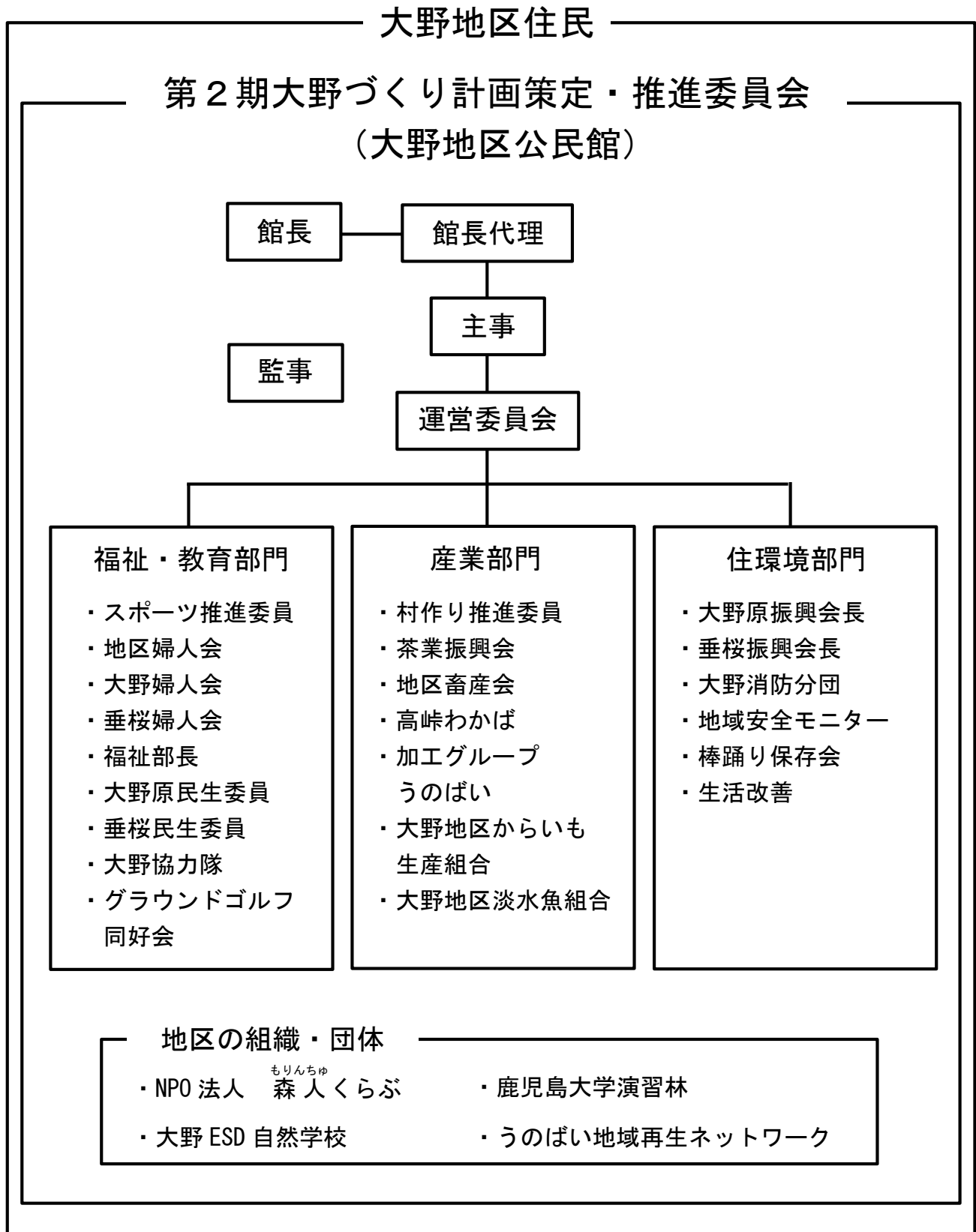
第2期計画策定により、行政や関係機関と協働し、力を合わせ、「一番のねがい」や「ありたい姿」の実現に向けた大野づくりを推進していきます。



▲ 令和2年度第2期大野づくり計画
策定・推進委員会

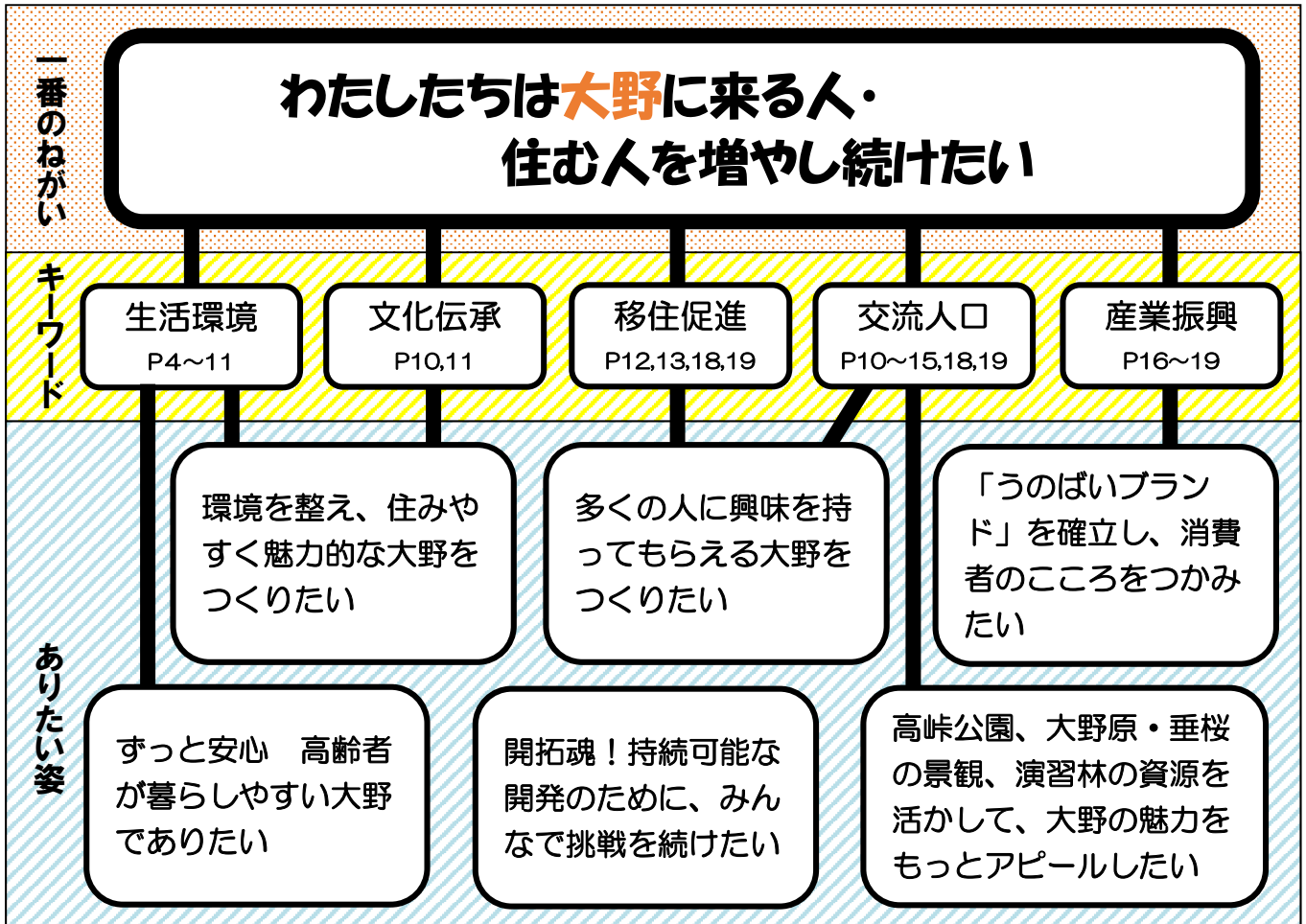
2 大野づくり推進体制

わたしたちが大野づくりを推進します。





3 第2期大野づくり計画の概要

わたしたちは「一番のねがい」を叶えるため、6つの「ありたい姿」実現に向けた取り組みを推進していきます。



4 大野のありたい姿（行動計画）

キーワード	ありたい姿	だれが(関わる団体)
		地域・団体名・市・県・国
生活環境	<p>ずっと安心 高齢者が暮らしやすい大野でありたい</p>  <p>▲ ちゃのんけ</p>	<p>大野地区公民館 垂桜自治公民館 各振興会 婦人会 大野協力隊 大野ESD自然学校 NPO法人 森人くらぶ 消防団 民生委員</p>
	<p>環境を整え、住みやすく魅力ある大野をつくりたい</p>  <p>▲ グラウンドゴルフ大会</p>	<p>大野地区公民館 垂桜自治公民館 各振興会 婦人会 大野協力隊 高峠わかば 大野ESD自然学校 鹿児島大学演習林 NPO法人 森人くらぶ 大野原水道組合 垂桜・駒ヶ丘水道組合 消防団 農地、水保全 大野地区淡水魚組合 大野地区からいも生産組合 地元企業</p>



いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1~3年目) 令和3~5年	中期(4~6年目) 令和6~8年	後期(7~10年目) 令和9~12年	
○地域の目配り、気配り、声かけで、安否確認を行う。			
○高齢者が日中過ごせるような場所（グラウンドゴルフやカラオケ）をつくる。			
○高齢者の病院や買い物のため、乗合タクシーを利用する。			
○いきいきサロン（健康教室、お菓子づくり、夕食づくり）で楽しみを増やす。			
○高齢者の活動を地区住民でサポートし、高齢者クラブを復活させる。			
○高齢者から昔の話を聞く機会をつくり、記憶を残していく。			
○地区公民館で、趣味の教室を開催する。			
○花いっぱい運動（ひまわり等）の推進。			
○地区住民で「思い出のアルバム」を作成する。			
○年齢の関係ない活動体制「大野協力隊」を構築し、公民館活動を支援する。			

4 大野のありたい姿（行動計画）

キーワード	ありたい姿	だれが(関わる団体)
		地域・団体名・市・県・国
生活環境	<p>環境を整え、住みやすく魅力ある大野をつくりたい</p>  <p>▲ 学生による奉仕作業</p>  <p>▲ 大羽重神社</p>	<p>大野地区公民館 垂桜自治公民館 各振興会 婦人会 大野協力隊 高峠わかば 大野ESD自然学校 鹿児島大学演習林 NPO法人 森人くらぶ 大野原水道組合 垂桜・駒ヶ丘水道組合 消防団 農地、水保全 大野地区淡水魚組合 大野地区からいも生産組合 地元企業</p>

いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1~3年目) 令和3~5年	中期(4~6年目) 令和6~8年	後期(7~10年目) 令和9~12年	
○子育て世帯の生活を支援する。			
○空き家（危険家屋）について、地区でできる対策を行う。			
○計画的な集落内の環境整備、奉仕作業を行う。 ・垂桜公民館上の運動場の管理を維持 ・農地、水の制度活用 ・機器の整備 ・奉仕作業等に来てくれる学生を支援する			
○タイヤショベルによる桜島積灰除去、除雪、堆肥運搬、砂利運搬及び芝刈り機による環境整備。			
○市道や農道、集落道の整備のため、地区でできる労力提供を行う。			
○地域の拠点としての地区公民館と位置づけ、必要な整備を行う。			
○大羽重神社の維持管理。			
○ボーリングによる新たな水源を確保。			
○水源地関連施設の管理。			
○大野原ろ過剤を更新する。			

4 大野のありたい姿（行動計画）

キーワード	ありたい姿	だれが(関わる団体)	
		地域・団体名・市・県・国	
生活環境	<p>環境を整え、住みやすく魅力ある大野をつくりたい</p>  <p>▲ 炭焼き窯の改修</p>  <p>▲ 水源地施設までの道路整備</p>	<p>大野地区公民館 垂桜自治公民館 各振興会 婦人会 大野協力隊 高峠わかば 大野ESD自然学校 鹿児島大学演習林 NPO法人 森人くらぶ 大野原水道組合 垂桜・駒ヶ丘水道組合 消防団 農地、水保全 大野地区淡水魚組合 大野地区からいも生産組合 地元企業</p>	
	市	土木課	

いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1~3年目) 令和3~5年	中期(4~6年目) 令和6~8年	後期(7~10年目) 令和9~12年	
○消防施設の整備。			<p>※1 第2期大野づくり計画が滞ることのないよう、なるべく早い時期に関係課と協議し、撤去したいと考えております。</p> <p>※2 現場の状況といたしまして、進行方向前方が見通せない急なカーブではないと判断いたしました。 しかしながら地域の皆様におかれましては、ご不安な面もあるものと思いますので、「徐行」や「スピード落とせ」、「急カーブあり」などの注意喚起の路面標示を検討いたします。</p> <p>※3 本年度より大野原垂桜線の舗装面の傷みが激しい箇所につきまして舗装工事を実施いたしました。引き続き来年度も実施する予定でございます。</p> <p>※4 現在、大野原垂桜線の舗装工事を継続事業として実施しておりますので、まずはこの路線を優先して整備いたします。 ご要望につきましては、大野原地区、垂桜地区よりそれぞれ舗装のご要望を頂いておりますので、傷みの激しい緊急性を要する箇所から優先して検討いたします。</p> <p>※5 台風の際、土砂流出などで通行できない場合は、建設業者や直営班で通行できるよう実施いたします。</p> <p>※6 除雪作業につきましては、過去も対応しております。降雪がございました際は市道を中心に実施いたします。</p>
○県道（中尾橋～田地明区間）の拡幅の早期実現を要望する。			
○臭気対策。 ・地区で具体的に取りまとめた要望書や提案書を企業に提出 ・情報開示、年1回の場内視察を要望			
○バイオマス発電所稼働に伴う企業への情報提供依頼を行う。			
○旧市営住宅は撤去する計画です。※1			
○学校先のカーブ改善について、対策を検討いたします。※2			
○大野原～垂桜連絡道路について、舗装工事を継続して実施いたします。※3			
○田地明～垂桜集落への市道について、当面は補修を行います。※4			
○田地明の市道山側ののり面整備は実施いたします。※5			
○地区で作成予定のマップをもとにした除雪作業は実施いたします。※6			

4 大野のありたい姿（行動計画）

キーワード	ありたい姿	だれが(関わる団体)	
		地域・団体名・市・県・国	
生活環境	<p>環境を整え、住みやすく魅力ある大野をつくりたい</p>  <p>▲ 水源地の確認</p>	市	社会教育課
			生活環境課
消防本部			
文化伝承	<p>多くの人に興味を持ってもらえる大野をつくりたい</p>  <p>▲ 豊年祭</p>	大野地区公民館 垂桜自治公民館 各振興会 婦人会 大野協力隊 高峠わかば 大野ESD自然学校 棒踊り保存会 鹿児島大学演習林 NPO法人 森人くらぶ 茶業振興会 大野地区淡水魚組合 大野地区からいも生産組合 地元企業	
交流人口			

いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1~3年目) 令和3~5年	中期(4~6年目) 令和6~8年	後期(7~10年目) 令和9~12年	
○地区公民館の台風対策について、対策を図ってまいります。※7			<p>※7 避難された方々の不安軽減を図るため、早期に対応策を検討して参りたいと考えております。</p> <p>※8 集落水道施設は、地区が主体となり整備をしていただいております。 市といたしましては補助金での対応となりますので「垂水市集落水道施設改良事業等による補助金交付要綱」の補助金の活用について生活環境課にご相談ください。</p> <p>※9 集落水道施設は、※8に前述していますように、地区が主体となり整備していただいております。市といたしましては補助金での対応となります。</p> <p>大野原地区の水源地区までの道路は山間部を通り、路肩が不安定な場所も見受けられることから、前述のボーリングによる新たな水源の確保の案を含め、地区による施設整備の方針の検討も必要と思われます。</p> <p>※10 大野原集落内には、現在3基の防火水槽が設置してあり火災時の対応は可能です。旧大野小中学校付近の対応については、プールを利用して対応可能です。 また、大野原消防団車両は平成28年度に水槽付ポンプ車を配備しており、初期消火に対応しております。</p>
○ボーリングによる新たな水源の確保は、補助金の活用についてご相談ください。※8			
○大野原水源地区までの舗装について、補助金の活用を含め、今後の施設整備についての検討が必要と思われます。※9			
○大野原の消防施設整備について、計画はございません。※10			
○郷土芸能をさらに振興する。 ・他地区と合同での郷土芸能発表の場を設ける ・保存会指導者、後継者の育成 ・棒踊り指南書、DVD作成、歌の継承 ・棒踊り衣装新調、音響機材の整備			
○地域行事の開催で、地域住民との親睦を図る。 ・ふれあいスポーツ大会 ・夏祭り ・豊年祭			
○「大野原いきいき祭り」の毎年開催。 ・地区特産物の販売と地域活性化、大野のアピール			
○地元企業と連携し、外国人との交流機会をつくる。			
○地域おこし協力隊及び学生等の活用を目指す。			

4 大野のありたい姿（行動計画）

キーワード	ありたい姿	だれが(関わる団体)	
		地域・団体名・市・県・国	
交流人口	<p>多くの人に興味を持ってもらえる大野をつくりたい</p>  <p>▲ 自然学校での体験活動</p>	<p>大野地区公民館 垂桜自治公民館 各振興会 婦人会 大野協力隊 高峠わかば 大野ESD自然学校 棒踊り保存会 鹿児島大学演習林 NPO法人 森人くらぶ 茶業振興会 大野地区淡水魚組合 大野地区からいも生産組合 地元企業</p>	
移住促進	 <p>▲ 大野原いきいき祭り</p>	市	土木課

いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1～3年目) 令和3～5年	中期(4～6年目) 令和6～8年	後期(7～10年目) 令和9～12年	
<p>○大野の自然を活かした体験。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フットパスによる交流人口増 ・農業体験や植物・昆虫採集、川遊び 			<p>※11 平成25年3月に垂水市公営住宅等長寿命化計画を作成し、この計画に基づき修繕や建替え、撤去を行うこととなっており、新たな住宅建設の計画はございません。</p> <p>ご要望につきましては将来的な人口増加率や需要等検討する必要がございますことから、現時点でのご要望にお応えすることはできないところでございます。ご理解いただきたいと思っております。</p>
<p>○自然学校の活用。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然学校の運営に協力し、もっと密に連携 ・自然学校の体験活動のため、畑や山林を貸与 ・体育館の利用団体(大学部活等)の誘致 ・学校体験ツアーや謎解きイベント開催 ・グランピング施設整備 ・交流や健康づくりのスペース設置 ・ピザ窯の設置 ・大野の米、野菜の活用促進 			
<p>○ホテルの郷づくり。</p>			
<p>○空き家の有効活用。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市空き家バンク制度 ・登録物件の掘り起こし ・宿泊施設をつくる ・地元企業に寮としての活用を提案 			
<p>○旧校長住宅の活用(シェアハウス、ライダーハウス等)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なるべく空き家を出さないためのシステムづくり(家主と事前調整等) ・地域外団体との交流 			
<p>○人を呼び込むための住宅整備。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者を探す ・定住促進住宅等の家賃面にメリットを付加 			
<p>○定住促進住宅を含む、若い人が住める住宅の整備について、新たな住宅建設の予定はございません。※11</p>			

4 大野のありたい姿（行動計画）

キーワード	ありたい姿	だれが(関わる団体)	
		地域・団体名・市・県・国	
交流人口	<p>「高峠公園、大野原・垂桜の景観、演習林の資源を活かして、大野の魅力をもっとアピールしたい</p>		
	<div data-bbox="285 674 1015 1151" data-label="Image"> </div> <p>▲ 高峠つつじヶ丘公園</p> <div data-bbox="285 1368 1015 1901" data-label="Image"> </div> <p>▲ 鹿児島大学演習林での植樹</p>	<p>大野地区公民館 垂桜自治公民館 各振興会 婦人会 大野協力隊 高峠わかば 大野ESD自然学校 鹿児島大学演習林 NPO法人 森人くらぶ 大野地区淡水魚組合</p>	<p>市</p>


いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1~3年目) 令和3~5年	中期(4~6年目) 令和6~8年	後期(7~10年目) 令和9~12年	
<p>○高峠つつじヶ丘公園の地区でできる整備、管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イノシシ対策を施し、花や果樹等を植栽 ・高峠の桜、つつじを見るスペース確保 ・高峠頂上からの眺望をアピール ・つつじ開花時期のおもてなし処(つつじ庵)の開設 			<p>※12 植栽スペースを専門業者が維持管理することで、高峠の年間を通した誘客が可能だと考えます。現場を確認したうえで、今後の対応を検討して参ります。</p> <p>※13 高峠は眺望が素晴らしいことから、霧島錦江湾国立公園に認定されたこともあり、登山道整備の必要性は認識しております。現在は森林組合による除草作業や簡易的な整備を行い、頂上までの案内看板や山頂の標識設置等を実施しているところがございます。今後も観光客の安全確保を第一に、現状の予算の範囲内で最善の対策を講じて参りたいと考えます。</p>
<p>○高峠つつじヶ丘公園の地区でできる整備、管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植栽範囲の拡大、年間作型の確立 			
<p>○新たな憩いの場として、垂桜を山桜や紅葉樹の名所にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山桜や紅葉樹の状況確認 			
<p>○新たな憩いの場として、垂桜を山桜や紅葉樹の名所にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニッセイの森の活用について、森林管理署やニッセイと協議 			
<p>○大野の紅葉樹を活かし、散策ルートづくりや環境整備を行う。</p>			
<p>○高限登山や周辺でトレッキング体験ができるよう整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路整備後、ボランティア案内人を養成 ・登山者のための休憩所を提供 ・登山口、分岐点などの要所への看板設置を要望 			
<p>○演習林の魅力を引き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習林の歴史、長谷集落の記録整備 ・学習プログラムの開発(福祉と地域学習) ・地域と大学のコラボで構築した人材育成「大野モデル」の継続 ・演習林や高峠公園を活用した交流人口を増やすイベントの実施 ・実習、視察団体受入れ ・冷泉、びしゃご岳、もみじ大木、夫婦墓の調査 ・演習林事務所の宿泊施設化の要望 ・材木を活用した講座(ログハウスづくり) 			
<p>○高峠登山道の整備について検討いたします。※12</p>			
<p>○専門業者による高峠公園の一部植栽スペースの維持管理について、検討いたします。※13</p>			

4 大野のありたい姿（行動計画）

キーワード	ありたい姿	だれが(関わる団体)	
		地域・団体名・市・県・国	
産業振興	<p>「うのばいブランド」を確立し、消費者のこころをつかみたい</p>  <p>▲ 商標登録された大野地区のロゴ 大野地区産の商品にはこのロゴシールが貼られる</p>  <p>▲ 六次産業化の取組</p>	<p>大野地区公民館 垂桜自治公民館 各振興会 婦人会 大野協力隊 高峠わかば 大野ESD自然学校 NPO法人 森人くらぶ 茶業振興会 大野地区淡水魚組合 大野地区からいも生産組合 地区畜産会 加工グループうのばい</p>	
		市	総務課

いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1~3年目) 令和3~5年	中期(4~6年目) 令和6~8年	後期(7~10年目) 令和9~12年	
○商品開発とブランドづくりを推進する。			※14 垂桜地区を含む垂水市内の一部に光回線の未開通地域が残っていることは、市としても把握しております。そのような地域での通信環境としては、現状では携帯電話会社のWiFiルーター利用が考えられます。 光ファイバ整備については、初期費用が非常に多額ではありますが、利用者数とのバランスが整えば、民間事業者において整備することは可能ですので、現在、光ファイバを整備しているNTT西日本に対しエリア拡大を要望しているところでございます。
○さつまいも、にんじんを使った大野らしい商品をつくり、販売する。 ・学生との連携も視野に			
○加工施設、必要な機器の整備を行う。 ・空き家の利用も検討し、必要に応じて修繕する。			
○降灰対策のためビニールハウスを導入する。			
○地区内に直売所を開設し、大野に人を呼び込む。			
○特産品の販路開拓と拡大（茶、つらさげ芋、貯蔵芋、大野野菜、ニジマス等）。 ・インターネット販売（タブレットなど今の売り方を検討） ・予約販売 ・軽トラ市			
○物産館等に大野の品を売る専用のコーナーを設置するための体制づくり。 ・各種イベント、祭りへの参加 ・販売窓口をNPO法人 森人くらぶへ依頼 ・講習会の開催			
○大野茶を消費者にもっとアピールする。 ・地域、市、県の三者で茶の加工品や飼料等の開発			
○垂桜への光回線導入について、民間事業者での光ファイバ整備を要望いたします。※14			

4 大野のありたい姿（行動計画）

キーワード	ありたい姿	だれが(関わる団体)
		地域・団体名・市・県・国
産業振興	<p>開拓魂！持続可能な開発のために、みんなで挑戦を続けたい</p> 	<p>大野地区公民館 垂桜自治公民館 各振興会 婦人会 大野協力隊 高峠わかば 大野ESD自然学校 棒踊り保存会 鹿児島大学演習林 NPO法人 森人くらぶ 大野地区淡水魚組合 大野地区からいも生産組合</p>
移住促進	<p>▲ 芋干場</p>	
交流人口		

持続可能な地域の活力を担うコミュニティづくりのため



▲ P4～5 いきいきカフェ



▲ P8～9 垂水市初の女性消防団員誕生

いつ、何をする			市役所関係課長等の見解
前期(1~3年目) 令和3~5年	中期(4~6年目) 令和6~8年	後期(7~10年目) 令和9~12年	
○山林財産(学有林10町歩)を活用し、地区住民に還元できるようにする。			
○自然学校プールや地区内の好適地で、淡水魚の養殖(ニジマスやチョウザメ等)を行う。			
○さつまいも等の増産。 ・鳥獣害対策を施した遊休地の活用 ・貯蔵庫や芋干場の増築 ・基腐病への対策(キュアリングなど)			
○子どもを増やし小、中学校を再開する。			
○記念写真スポットや大野地区案内看板、観光マップをつくり、大野の魅力を発信する。			

大野づくりには女性が積極的に参画しています！



▲ P10~11 夏祭り準備



▲ P10~11 いきいき祭り準備

5 わたしの大野づくり

一番のねがい (R3~R12)

わたしたちは**大野**に来る人・
住む人を増やし続けたい



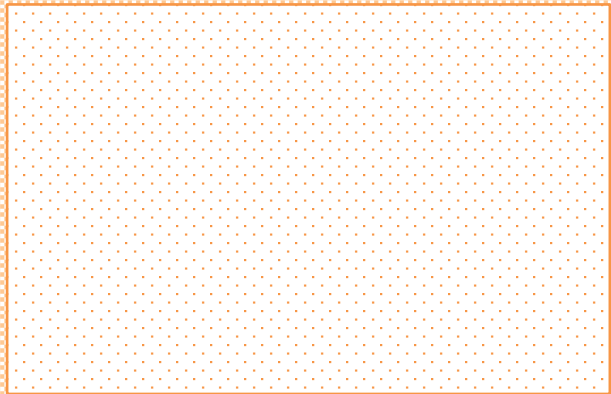
10回に渡る策定委員会を経て、
「第2期大野づくり計画」が完成
しました！
この計画に基づき、今後の大野づ
くりを推進していきます。

- ・大野地区のロゴが商標登録
- ・道の駅でのつらさげ芋販売会
- ・チョウザメの養殖開始
- ・公民館講座「ちやのんけ」開始
- ・第2期大野づくり計画策定

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・


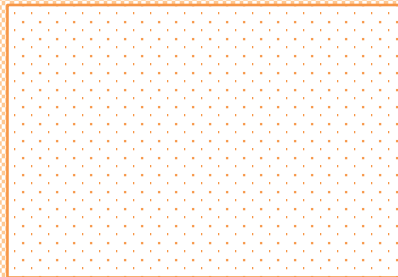




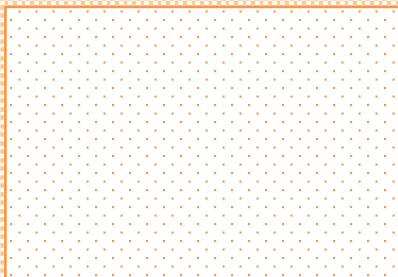
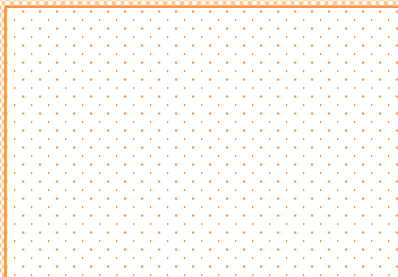
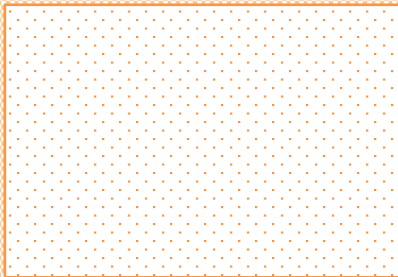


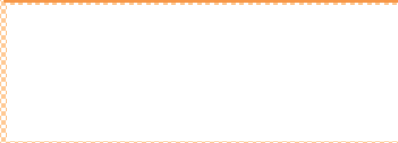
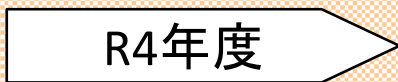
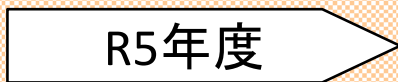
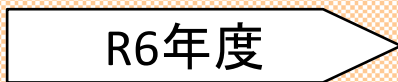


つらさげ芋販売会



R2年度

R3年度

<ul style="list-style-type: none"> ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ▪ ▪ ▪ ▪
		
		
		
		
		

6 参考資料

(1) 大野づくりの歩み(H21~H26)

一番のねがい (H23~R2)

わたしたちは大野の人を増やしたい



地区全戸への意見募集や、各部門・地区公民館運営委員での話し合い等を経て、「大野づくり計画」が完成しました！

- ・大野づくり計画(初版)策定
- ・地区青年部の設立
- ・第1回大野原いきいき祭り

- ・地区とジャパンファームの話し合い
- ・高峠コスモス植栽の取組
- ・第2回大野原いきいき祭りで来場者3,400人を記録

- ・高峠わかば、地区青年部がつつじシーズンにおもてなし処「つつじ庵」を運営
- ・空き家改修で移住者1名を受入れ
- ・第3回大野原いきいき祭り



大野づくり計画の話し合い



第2回大野原いきいき祭り



移住者の受入れのための空き家改修

H21~22年度

H23年度

H24年度

平成25年度 過疎集落等自立再生緊急対策事業

「うのばいよかといプロジェクト」

1. うのばいブランド化事業

- ・つらさげ芋の商標登録出願
- ・土壌改良調査
- ・つらさげ芋の加工品開発
- ・つらさげ芋生産貯蔵施設整備



2. うのばい魅力発信事業

- ・地区ホームページ作成
- ・大野原いきいき祭りPR
- ・高齢者サロン開催



3. うのばい安心創造事業

- ・集落水道施設整備
- ・集落奉仕作業による集落墓地参道整備



・過疎集落等自立再生緊急対策事業
(つらさげ芋生産貯蔵施設整備、地区HP作成、集落水道施設整備等)

- ・鹿学園祭での大野棒踊り発表
- ・空き家改修で移住者2名を受入れ
- ・第4回大野原いきいき祭り
- ・垂桜農道の整備
- ・NPO法人 森人クラブの設立

- ・開拓100周年記念第5回大野原いきいき祭り
- ・九州地区公民館研究大会での棒踊り発表
- ・つらさげ芋貯蔵庫への空調設備導入
- ・大野づくり計画(見直し版)策定



大野づくり計画
(見直し版)

H25年度

H26年度

(1) 大野づくりの歩み(H27~R1)

平成27年度 過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業
「うのばいブランド化プロジェクト」

うのばいブランド化事業

- ・つらさげ芋干場施設整備
- ・トラクター購入
- ・ニジマス養殖環境整備
- ・公民館調理室改修
- ・加工機器整備、加工品開発



- ・過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業
(つらさげ芋干場施設整備、ニジマス養殖環境整備等)

- ・旧校長住宅を改修し、移住者1名を受入れ

- ・視察対応用の映像機材整備

- ・第6回大野原いきいき祭り

- ・うのばい地域再生ネットワークの設立

- ・錦江湾奥会議を大野地区で開催

- ・転入者を迎えるための空き家改修

- ・大野地区公民館外壁塗装

- ・地区住民による墓参道補修整備

- ・第7回大野原いきいき祭り



JICAの研修受入れ(H23~27年度)



地区住民による墓参道の整備

H27年度

H28年度

受賞・表彰歴

平成25年度

県共生・協働型地域コミュニティ
づくり推進優良団体表彰
「会長賞」



平成28年度

豊かなむらづくり全国表彰
事業 九州ブロック
「農林水産大臣賞」



平成25年度

おおすみの地域力表彰



平成28年度

農林水産祭むらづくり部門
「内閣総理大臣賞」



平成27年度

過疎地域自立活性化優良事例表彰
「全国過疎地域自立
促進連盟会長賞」



平成29年度

地方自治法施行70周年記念
総理大臣表彰 民間団体部門



・水源地関連設備の貯
水タンク配電盤の修繕、
周辺の土砂除去

・第8回大野原いきいき
祭り



水源地関連施設の
周辺整備

・炭焼き窯や周辺施設
の改修

・いきいき祭りでの炭焼
き・木炭販売

・第9回大野原いきいき
祭り



炭焼き窯の改修

・第10回大野原いきいき
祭り

・地区内交流用備品購
入(グラウンドゴルフ備
品、スカットボール、ス
ラックライン)



ふれあいスポーツ大会

H29年度

H30年度

R1年度

(2) 第2期大野づくり計画策定・推進委員会規程

(設置)

第1条 第5次垂水市総合計画基本構想に基づき、大野地区における地域振興計画を策定・推進するため、第2期大野づくり計画策定・推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 委員会は、第2期大野づくり計画策定のための企画、調整及び素案・原案策定・計画に基づく事業の実施及び推進に関することについて処理する。

(組織)

第3条 委員会は委員長、議長及び委員をもって組織する。

2 委員長は地区公民館長代理をもって充てる。

3 議長は委員の中から選出する。

4 委員は、大野地区公民館の運営委員及びその他委員長が特に選任する者をもって充てる。

5 委員は、大野地区公民館長代理が委嘱するものとする。

(委員長等の職務)

第4条 委員長は、委員会を代表し調整役として委員会を総理する。

2 議長は、会議の議長として会議を掌理する。

(委員会の招集等)

第5条 委員会は、委員長が必要に応じ招集する。

2 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させて意見を聴くことができる。

(事務局)

第6条 委員会の事務局は、大野地区公民館に置く。

(委任)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この規程は、令和2年4月14日から施行する。

(3) 第2期大野づくり計画策定・推進委員会名簿（令和2年度）

No.	大野地区公民館役職等	委員会職名	委員氏名
1	公民館館長代理	委員長	室田 清信
2	大野消防団分団長	議長	松元 正美
3	学生担当	議長	桑原 恵
4	公民館主事	委員	鶴田 なつき
5	スポーツ推進委員	委員	舞原 琢也
6	大野原振興会長・監事	委員	堀之内 辰美
7	垂桜振興会長・監事・森人くらぶ・大野地区淡水魚組合・うのばい地域再生ネットワーク	委員	酒瀬川 牧
8	村作り推進委員・大野地区からいも生産組合	委員	前田 清輝
9	地区婦人会長	委員	原田 ひとみ
10	大野婦人会長・福祉部長	委員	松元 みお子
11	垂桜婦人会長	委員	迫田 良子
12	棒踊り保存会長	委員	迫田 久
13	大野原民生委員	委員	宮下 康
14	垂桜民生委員	委員	竹澤 サダ子
15	加工グループうのばい・生活改善会長	委員	前田 ひとみ
16	地区畜産会長	委員	室田 修一
17	グラウンドゴルフ同好会長	委員	新村 良一
18	地域安全モニター	委員	宮下 省司
19	地区公民館別館	委員	福島 康彦
20	高峠わかば	委員	内田 のり子
21	青年部長	委員	宮下 直弥
22	鹿大演習林	委員	井倉 洋二
23	大野原振興会員	委員	井之上 俊治
24	大野原振興会員	委員	内田 勝己
25	大野原振興会員	委員	田之上 光雄
26	大野原振興会員	委員	石川 智子
27	大野原振興会員	委員	桑原 鉄太朗
28	大野原振興会員	委員	重信 淳子
29	垂桜振興会員	委員	原田 勇人
30	垂桜振興会員	委員	田鍋 尚樹
31	垂桜振興会員	委員	坂元 美智子

(4) 策定経過

主な取組	日付	会議の名称	参加者数
・第2期計画策定に取り組むことを組織決定	R2/4/14	大野地区公民館総会	15名
・行動計画の振り返り	R2/6/26	第1回策定委員会	17名
・行動計画の振り返り	R2/7/30	第2回策定委員会	16名
・新たな行動計画、具体的な取組の協議	R2/8/18	第3回策定委員会	24名
・新たな行動計画、具体的な取組、要望事項等の班協議	R2/9/15	第4回策定委員会	18名
・新たな行動計画、具体的な取組、要望事項等の班協議	R2/10/13	第5回策定委員会	16名
・「一番のねがい」「ありがたい姿」の協議 ・市への要望事項の協議	R2/11/2	第6回策定委員会	18名
・市関係課長等と見直し行動計画案の要望事項について意見交換 ・「一番のねがい」「ありがたい姿」の協議	R2/11/24	第7回策定委員会	24名
・行動計画の枠組み、「だれが(関わる団体)」の協議	R2/12/15	第8回策定委員会	17名
・「一番のねがい」「ありがたい姿」の協議	R3/2/22	第9回策定委員会	12名
・計画書の仕上げ作業 ・第2期計画書原案の承認・決定	R3/3/16	第10回策定委員会	16名



市関係課長との意見交換（第7回見直し委員会）

あとがき

わたしたちは、平成 22 年度に 10 年間の地域振興計画「大野づくり計画」を策定し、地域づくりに取り組んできました。

行動計画に基づき、「大野原いきいき祭り」の開催や「うのばいブランド」確立に向けた産業振興、移住者のための空き家改修など、地域活性化につながる様々な取組を実施してきました。

大野づくり計画の最終年度となった今回、これからの地域づくりについて考え、さらに発展させていくため、第 2 期大野づくり計画の策定に取り組みました。

これまでに実施してきた行動計画の振り返りを行い、既存の行動計画の充実を図り、次の 10 年への想いを新たな行動計画として加え、ここに第 2 期計画が完成しました。

わたしたちは、地区の一番のねがい「わたしたちは大野に住む人・来る人を増やし続けたい」実現のため、この第 2 期大野づくり計画により、これまで以上に協力し、魅力あふれる大野づくりに取り組んでいきたいと思えます。

最後に、多忙な中、第 2 期大野づくり計画に携わっていただいた委員の皆様、市役所関係各課の皆様に、心から感謝申し上げます。

令和 3 年 3 月 16 日

第 2 期大野づくり計画策定・推進委員会委員長
室田 清信

大野で生きる 大野に生きる

第 2 期大野づくり計画

発行年月 令和 3 年 3 月
編集・発行 第 2 期大野づくり計画策定・推進委員会
大野地区公民館
〒891-2104
鹿児島県垂水市田神 3688 番地
☎0994-32-4792
協働制作 垂水市役所関係各課
企画政策課地域振興係

